

年間業績発表 棚卸資料

部門 入所 / 通所 / 訪問
PT / OT / ST
コアカリ()

当施設リハビリテーション部では、質の評価をドナベディアンモデルを使用して毎年棚卸を行っています。棚卸の目的は、在庫や品質を把握することで、課題に対して今後活かすために実施します。ドナベディアンモデルは、医療の質を評価する際によく用いられます。これは、「構造 structure」、「過程 process」、「結果 outcome」の3つの側面で評価します。評価結果を下記にまとめてみてください。

《年間目標》

- ① 新人教育+学生指導実施できる体制を整える
- ② 画一的な集団活動提供から個人の好む作業に合わせた活動の提供への移行

● 構造 structure

- ① 臨床実習指導講習のアナウンス実施
- ② OT会議にて集団リハの運用を検討(ASEAにて集団の評価を行う)

● 過程 process

- ① 指導者講習に参加(蘆田・猪村・岡田・國場OT)
- ② 興味関心チェックリストを入所全利用者に実施

● 結果 outcome

- ① 受講可能なセラピストは全員受講(森OT取得済み 今回蘆田・猪村・岡田・國場OT取得)
- ② 要望が多かった映画鑑賞会、調理に関してはレクを実施できた
⇒実施後にアンケートを実施し次回以降のレクの予定を検討
ASEAは部分的に評価実施できたが実用性が乏しかった

《次年度持ち越し課題》

MOHOを通して集団の評価 評価の習熟を図る